

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

ネットで教えを垂れる人たちは、特にある程度有名な方々は、他者に対して啓蒙けいもう的な態度を取るということに、一種の義務感を持ってやってらっしゃる場合もあるのだらうと思います。僕も啓蒙は必要だと思うのですが、どうも良くないと思うのは、ともするとネット上では、啓蒙のベクトルが、どんどん落ちていくことです。これはしばしば見られる現象です。たとえば掲示板やブログに「○○について教えてください」などという書き込みをしている「教えて君」みたいな人がよくいますが、そこには必ず「教えてあげる君」が現れる。自分で調べてもすぐにわかりそうなのに、どういうわけか他人に質問し、そして誰かが答える。そして両者が一緒になって、川が下流に流れ落ちるように、よりものを知らない人へ知らない人へと向かってしまうという現象があり、これはナンセンスではないかと思えます。ツイッターでも、ちよつとしたつぶやきに対して「これこれはご存知ぞんですか？」というリプライを飛ばしてくる人がいますが、つぶやいた人は「教えてあげる君」に教えられるまでもなく、それは知っていて、その上でつぶやいたのかもしれない。だから僕は

「^A教えて君」よりも「教えてあげる君」の方が、
場合によっては問題だと思えます。自分より知識
や情報を持っていない方に向かうよりも、自分が
知らないことを新たに知ることができる方向に向
かっていった方がいいに決まっています。啓蒙する
よりも啓蒙される側に回った方が、自分にとって
は利があると思うのです。

(引用先 佐々木敦『未知との遭遇』)

問 傍線部A「『教えて君』よりも『教えてあげる君』

の方が、場合によっては問題だと思えます」とあるが、それはなぜか。その理由の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 「教えてあげる君」は「教えて君」に対して無責任な回答をすることによって、質問をただ繰り返すばかりの「教えて君」の態度の安直さを許容してしまっているため、「教えて君」の知的レベルを著しく低下させる弊害をもたらすことにもなるから。

② 「教えてあげる君」は「教えて君」に知識を押しつけるばかりで、その時点での相手の知的レベルに応じた回答をしているわけではないため、「教えて君」をいたずらに困惑させてしまい、自らの教える行為を無意味なものにしてしまうことにもなるから。

③ 「教えてあげる君」は自身の知識を増やそうとすることがなく、「教えて君」の知的好奇心を新たに引き出すこともないため、「教えて君」もまた「教えてあげる君」と同様の状況に陥り、社会全体の知的レベルが向上していかないことにもなるから。

④ 「教えてあげる君」は社会全体の知的レベルを向上させなければならぬという義務感にとらわれており、「教えて君」の向学心に直接働きかけようとして教えているわけではないため、自分自身の知的レベルが向上していかないことにもなるから。

⑤ 「教えてあげる君」は「教えて君」を導くことで得られる自己満足を目的として教えているに過ぎず、「教えて君」の知的レベルを向上させることには関心がないため、「教えて君」と「教えてあげる君」との応答がむだに続いてしまうことにもなるから。